

Doc.No : NR010605-2

2001年6月5日

高速全穴検査が可能なドリル穴検査装置を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、NC穴あけ加工後の全数検査に対応したドリル穴検査装置「DI-1000」を開発、10月1日から販売します。

DI-1000は、プリント基板のドリル穴検査用に開発した専用ソフトウェアと、プリント基板用外観検査システムの光学式検査方式をインテグレーションした装置。

620×480ミリサイズの基板には1万から1.5万個ものドリル穴があるため、全穴検査は時間がかかり、なおかつ低レベルの信頼度しか得られませんでした。

このたび開発したDI-1000は、穴数に無関係で高速検査できるアルゴリズムを採用したため、高速検査モードの場合わずか16秒で620×480ミリサイズの基板の全面が検査できます。これにより、基板検査工程を飛躍的に合理化でき、かつ不良基板の発見が可能で、後工程の製造段階での無駄を削減することができます。また、目視確認ステーションVT-1020の併用で、さらに確実な検査作業が実現します。

< 国内標準販売価格(消費税別)>

DI-1000+目視確認ステーションVT-1020のセット価格 4,300万円

< 年間販売台数(初年度)>

10台



ドリル穴検査装置DI-1000、
および目視確認ステーションVT-1020のセット

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

特長

1. 穴ずれ、穴径、穴無し、穴詰まりなど、高精細ドリル穴検査に対応。
2. 穴数の多さにかかわらず画期的な高速検査方式。
3. 目的に応じた確実な欠陥検出方式による検査が可能。
4. 目視確認ステーションVT-1020併用で、確実な欠陥確認作業を実現。
5. 最大256面のマスターデータが保存可能で、多品種少量の検査に素速く対応。
6. ドリル穴グループが多面付けされている場合、他の面の穴を比較検査できる。
7. お客様の要求に合わせた多様な検査基準に対応。

仕様

検査対象 : スルーホール基板のドリル穴の検査

検査範囲 : 積載可能サイズ : X方向(最大)760 mm
Y方向(最大)800 mm

実検査範囲(カメラ) : X方向(最大)620 mm(4台*)
Y方向(最大)720 mm(奥行き)

検査範囲指定可能範囲 : X方向(最大)680 mm
Y方向(最大)720 mm

検査機能 : 検査時間 : (620×480 mm 基板検査時、欠陥候補数ゼロ時/最小時間)
(1) 普通検査モード : 最小時間32 秒
(2) 高速検査モード* : 最小時間16 秒

注 高速送り、アライメント時間は除く。

検査方式 : 比較対象/NCドリルデータ*、代表基板、フィルム

精細穴のずれ検査 : 透過光画像/許容ずれ量を設定(高精細穴のみ)

精細穴径検査 : 透過光画像/許容穴径違いを設定(高精細穴のみ)

精細穴無し検査 : 透過光画像/穴ずれ量の限界値の設定(高精細穴のみ)

注 削りカス穴詰まり検査、穴変形検査は穴径検査と同仕様。

普通穴の検査 : 透過光画像/画像比較の欠陥サイズの設定(高精細穴以外)

注* はオプション機能